

県立高等学校における感染防止対策の具体的な取組事例

【学校活動全般】

- ・生徒がアプリに毎日の健康観察を入力し、教員全員で生徒の健康情報を共有。
- ・学校独自の手帳を活用し、生徒の健康観察・健康記録を促進。
- ・選択授業は、授業ごとに生徒自身が使用した机を消毒。
- ・自由座席の授業では、授業ごとに教科担任が生徒の座席順を記録。
- ・情報伝達漏れがないよう、管理職が教員に伝達した方法と経過を記録。

【休み時間・昼食時間】

- ・昼食時に、クラシック音楽を流し、教室での黙食を徹底。
- ・学活前と昼休みに、毎日の感染状況や感染対策を全校放送で周知。
- ・食堂では、食券購入と食事の受け取りの動線を矢印で指示することで、接触を回避。

【部活動】

- ・屋内運動部活動における水分補給を屋外において実施。
- ・屋内運動部活動中は、常時、扉を開放し換気。
- ・屋内運動部活動中は扉を閉める必要がある場合でも、下部の窓を開放。
- ・生徒による部活動代表者会議を開催し、生徒の感染対策の意識向上を促進。
- ・部活動後のコンビニ等における飲食を控えるよう周知。
- ・部活動での発生に備え、校内で統一した部活動出席簿を導入し、職員室で管理。
- ・各部活動ごとに作成した「部活動における感染防止対策」を一冊にまとめ、即時に確認できるよう職員室で管理。
- ・部活動の活動報告や取組を共有フォルダで集約し、教員全員が共有。

【その他】

- ・下校時、教員が通学駅に出向いて、生徒への声かけを実施。
- ・教職員間においても、常に体調について声かけを実施。
- ・寮の食堂入口に手洗い場までの動線を指示し、手洗いを励行。